

白報

Vol.6

心でつながる身近な医療を目指して

医療法人社団 白報会

〒116-0014

東京都荒川区東日暮里5-41-2 NNビル9F

TEL:03(3806)8531 FAX:03(3806)6659

URL | <http://www.hakuhokai.com>



白報会本部にて(左)鶴時氏、(右)白理事長

鶴時靖夫氏略歴

IN(アイエヌ)通信社を創業。経済、経営の評論家、ラジオパーソナリティでもあり、著作は350冊を超えている。1984年の番組開始以来、現在までに放送6900回を超える長寿ラジオ番組「こんにちには! 鶴時靖夫です」のパーソナリティも務めている。



鶴時靖夫氏と対談

書籍出版

先日、白理事長がラジオ番組の「こんにちには! 鶴時靖夫です」に出演したのをきっかけに今春には(仮題)「白報会グループの挑戦」と題し書籍出版が決定しました。今回はその書籍記事インタビューも兼ねた対談が行われました。

社会保障制度について

鶴時氏(以下「鶴」): 白先生、社会保障制度についてどうお考えになりますか? 私は財源の問題が根底にあるのかなあと思うのですが、近年、制度がいろいろと変わり一歩、一歩の前進感がありますけどね…。管内閣が消費税増税なども謳っていますが…。

白理事長(以下「白」): 私としては社会保障制度の医療制度について考えた時に頻繁に改定がある点数の増減の変えどころだったり、特養の配置医師の問題、医療保険、介護保険の位置

づけだったりと今後、見直しを早急に求めたい事ばかりだと感じます。

鶴時さんがおっしゃられた財源の問題についても、どうせなら消費税ではなく医療福祉税? みたいな名目で徴収し、財源の確保が出来れば幾分良いのではないかと思えます。

鶴: そのですね。特別徴収で使い道も医療、福祉に特化出来れば多少は制度が充実したものになるかもしれないですね。

白報会に求める!

鶴: 在宅医療において都心部と地方に格差があるように思えてしまうのですが、地方の在宅医療に関して国は医師任せになっただけでいるから??

私の知り合いの歯科医は地方で24時間対応の診療を行っているのですが、地方において在宅医療のパイオニアになるおつもりはないのですか?

白: 地方ですか。考えてない

訳ではないのですが、都心と地方で格差が生じてしまう大きな原因は、やはり24時間365日対応の在宅医療の対応で一番重要な人的資源が圧倒的に地方には少ない！これに尽きます。特に内科の在宅往診は、患者さんに関わる各地域資源が豊富でなければならぬのですが、現状地方においてはそこまで補える資源が都心に比べて足りてないと私は考えます。

一時、病院の地方展開が急激でしたが、今の時代は病院が医療の提供の主ではない時代になりつつあります。更に病院とは異なりプライマリケアを重視する上で、病診連携を図り、患者さんの多種多様なニーズに医療を提供する我々がこれまでにない医療サービス提供の環境を創り、応えていく時代になると感じます。

会社、人を育てる

鶴：長年、多くの企業や経営者を見てきて、『会社づくり⇄人材育成』と考えている私としてズバリ白先生は『人が好きですか？』

白：『好きです』

好きだけで人や会社は育つものではないですが、いち民間企業として人材育成に十分なエネルギーを注ぐ事は難しいが可能な限り人材育成には力を注ぎたいです。私の考えは、誰しも得手不得手がある中で、その得手を引き出して伸ばす！事です。そしてとにかくチャレンジしてほしい！そういった仕事姿勢だったり、人間性を評価していきたい。

鶴：そういうお考えのもとに会社づくりに励まれていればきっとトップから職員ひとりひとりで運命共同体みたいに鉄より堅い強固な集団に成長を遂げるよ。

白：是非そうありたいです。常に社会貢献という大きなテーマから逸れる事なく、我々は感謝される事にもっと貪欲にならなければいけないと思っています。本当にこの仕事をやっていてよかったな！と思う時が、患者さんからの感謝の意を頂ける事なんです。これは職員も感じるとは思いますが、



◆対談風景

素直に嬉しいと思えるし、やりがいも感じます。

鶴時さんから見る白先生

鶴：今回、ラジオ番組でのお付き合いをきっかけに書籍出版へつながり、その取材の過程で白先生のいろいろな面に触れることができ、先生と話しているとなんかいい気持ち（明るい気持ち）になって、ほんわかあ〜とするんだよねえ〜。

※白先生へえっ！といった感じで照れくさそう

鶴：とにかくこの異端児（？）革命児（？）的な白先生には、もう後戻り出来ないんだから、ガンガン攻めてくださいよ！（笑）

白：ハハハツ（笑）

封建的な規制の中でいかに新しい医療サービスの提供が出来るか！。施設の淘汰、合併などの状況下「医療の戦国時代」に総論を並べていてもどうしようもないので、まずは各論で出来る事から取り組んでいきます。

鶴：出版が楽しみです。非常におもしろい本が出来上がりそうですよ。

※皆様もどうぞご期待ください。

CS研修

〇JTの一環として株式会社

会社リサーチサポートによるCS接客対応の研修が行われました。



白報会ではこれまで社内によるCS研修はあったものの外部の講師による研修は初の試みとなります。

対象事業所の1番目として総合クリニック松戸職員を対象にあらゆる事前調査を行い研修力リキユラムが組まれています。

来院される患者様により良い対応が出来るよう徹底したCS接客対応の品質向上に励んでいきたいと考えております。

研修を受講した職員は、これまで意識していなかった様々な接客姿勢の意見や評価に驚きつつも納得している様子でした。また自分がどう見られているかなども専門家からの意見が聴けることで「普段の自分自身のスキル自体が向上できる」との感想などが挙げられていました。

今後、白報会では外来部門、介護部門を中心にこのような研修を積極的に行っていきます。

避難訓練



先日、入替整形外科で避難訓練が行われました。

訓練とはいえ、いざという時に備えて、各職員、各々決められている役割をシミュレーションし避難訓練を遂行していただきました。

定期的に各事業所において防火管理者が配置され避難訓練が行われております。万が一に備えて患者様、ご入居者様の誘導、安全確認、連絡網の確認など徹底した管理マニュアルに従い訓練を実施しています。

季節柄、空気が乾燥し火災が起こりやすくなっております。皆さまも火の元には十分お気をつけてください。





平成23年秋の開設を予定している有料老人ホーム「草加幸楽園」の施行がいよいよ開始されました。当法人の4施設目となる幸楽園は松原団地駅側に地上6階建て、延床面積2600㎡で診療所を併設した有料老人ホームです。

1月27日(大安)に地鎮祭が草加神社斎により行われました。当日は天気には恵まれたものの、とても寒さが厳しい中、当法人はもちろん、出席された設計、施工業者の方々も事業の発展と工事の安全を祈願するとともに、寒さだけではなく、これからの立上げに身を引きめています。

[食事療法]

栄養はバランスよく摂りましょう

バランスの良い食事を摂ることで、病気に対する抵抗力をつけることができ、呼吸の改善にもつながります。

エネルギーを摂る工夫をする

肺に障害のある患者さんは、呼吸するだけで健康人よりも多くのエネルギーを消費します。息苦しさから食欲が落ちて痩せてしまうこともあり、その結果、いっそう呼吸が苦しくなる、という悪循環になりがちです。それを防ぐ意味でも、食事からエネルギーを多く摂る工夫が必要になります。

食事は回数をわけて摂る

食事は一度にたくさんの量を食べるのではなく、数回(4~5回)に分けて適度に。決めた時間(例:10時・15時)に間食するように習慣をつければ、摂り忘れはなくなります。間食には果物や乳製品(ヨーグルトやチーズ)などを利用すると不足しがちなビタミンCやカルシウムなどが摂れます。
【ポイント】一度に多く食事を摂ると横隔膜が圧迫され呼吸がしづらくなってしまいます。少量でもバランスの良い食事を心がけてください。

いも類・豆類・炭酸飲料など

いも類・豆類・かぼちゃなどの食品や炭酸飲料は、消化管内にガスを発生させ横隔膜の動きを邪魔する時があります。もし苦しくなるようなら避けるようにしましょう。
【ポイント】豆類を摂取する場合は、豆腐などの加工食品を選択すればガスは溜まりません。

塩分は控えめに

塩分は、1日10g以内にしてください。薄味のものでも食べる量は控えめにしましょう。心疾患や血圧高めの方は特に薄味を心がけてください。

良質のたんぱく質を多く摂取する

筋肉をつけるにはたんぱく質が必要になるので、卵・魚・肉・大豆製品・牛乳などを摂取しましょう。動物性たんぱく質と植物性たんぱく質は、偏らないように注意しましょう。

毎日、体重を計りましょう

体重の増減は体調に影響を与えます。毎日体重を計る習慣をつけ、一定の体重を保つように心がけてください。カレンダーなどに記録しておくとお変化が見えます。体重の急激な変化があった場合は、すぐに医師に相談を!

岸先生に + 会いたい +



川口ホームクリニック
岸 直弘 院長先生

岸 直弘 先生プロフィール

専門科	循環器内科
昭和61年	千葉大学卒業
出身地	東京
家族	妻、娘1人
趣味	旅行、ドライブ

西武池袋線新所沢駅より徒歩3分というアクセスに便利な、部屋数40戸（全室個室）の中規模でアットホームな有料老人ホームです。

看護・介護・事務・厨房・清掃スタッフ合わせて20名の職員がシフト制で勤務し、ご入居者様の日々のケアをさせて頂いております。

施設内はとても明るく、2F・3Fエレベーターを降り

ると日当たりのよいエントランスがあり、ご入居の皆様がテレビをご覧になったりお茶を飲まれたりと、交流の場として活用されています。

施設行事も少しずつ増え、昨年9月には民謡踊りボランティアの方々のご協力で敬老会を開催、12月のクリスマス会では職員によるフルートのクリスマスソング演奏を聴いて頂きました。

今年も年間行事を計画し、日常的なレク活動の充実を図り、ご入居者様に楽しんで頂ける様スタッフ一同頑張ります。

また、他施設や医療機関からのお問い合わせに加え、インターネットをご覧になったり、近くを通りお知りになったり、「近くのので」と飛び込みで見学に来られたり、近郊のお客様のご入居も増え始めています。

住宅地に位置している事もあり、地域との交流・連携の重要性を感じています。地域に根付いた施設を目指し、できることからからの取り組みとして「地域ゴミ収集所・施設周囲の清掃」を始めています。

何卒、地域の皆様はもちろん今後とも所沢幸楽園を宜しくお願い致します。

事業所 探訪

所沢幸楽園



- 開設年月日：平成19年2月
- 入居定員：40名
- 〒359-0044
埼玉県所沢市松葉町7-24
TEL：04-2998-7527
FAX：04-2998-7541

同業種交流会

定期的なイベント「感謝のタペ」（医療法人高輪会、みよの台薬局グループ合同主催）が、六本木ヒルズで開催されました。

会場ではビッグバンドによる音楽、ダンスなどが披露され華やかなパーティとなりご来場された皆様におかれましては大変盛り上がり上がりました。

日頃、多分にご協力を賜っているドクター、介護業界の第一線で活躍されている方、その他、地域資源の方が一同に集う場として貴重な情報交換の場としても有意義な場となりました。

尚、当日は各界からの著名な来賓の方がお越しになっており、各々、交流を深める事も出来ました。



◆(左)看護師・小川、(左中)石原 伸晃 氏、(右中)白 理事長、(右)池山 統括事務長

編集後記

寒いです。

春までのカウントダウンがようやく出来るようになってきましたか？とはいえず、春の兆しなど全く感じないこの寒さ。寒がりの私としてはそろそろしびれがキレそう。家の光熱費も年間の最高額に！。唯一、今年の冬も大したカゼをひく事なく現在に至れている事が私にとつての救いです。

皆さまにおかれましてはどうか？カゼなどの対策はどのようにされていますか？

医療的見地ではありませんが、こんな寒い日は心身温まるような温かいお鍋でも召し上がって過ごしたいものですね。ちなみに皆さんは○○鍋派ですか？私は今年、ホワイトシチュー風鍋にハマっています。

まだまだ寒い時期が続きますが、くれぐれもお体をご自愛ください。

(総務課 中西)